



社会福祉法人 恩賜財団 済生会 松山老人保健施設にぎたつ苑



にぎたつ苑

済生会松山老人保健施設

2023

春

第 49 号



[五色姫海浜公園](#)

平家のお姫様にまつわる伝説が残る、伊予市の五色浜は、きれいな公園になっとるんよ。
コロナ前は夜桜のライトアップもされとってね～、また見たいわい！

[パンフレット一覧](#)

新年度のご挨拶

4月から新年度を迎えるにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。ご承知の通り、日本は現在もコロナ禍にあり、最近では感染者も減少傾向にあるとはいえ、まだ多くの方がご苦労されています。そのため、にぎたつ苑でも気軽に面会ができない、また他の都道府県からの来訪に制限がかかる等、多くのご利用者、並びにご家族の皆様方に大変ご不便をおかけしてきました。3年に及ぶコロナ禍ですが、ようやく国も5月の連休明けをめどに2類相当から5類への変更の方針を予定しています。5類に変更になったからと言って、感染の危険性が無くなるものではありませんが、よりコロナ前の日常が戻ってくるものと期待されます。



施設長
山本昌也

今後にぎたつ苑でも5類変更後のサービス提供のあり方について入念に検討して参ります。すぐにコロナ禍以前の状況とはなりません、ご不便をおかけした分を取り戻せるように努力して参りたいと存じます。

新年度にもにぎたつ苑はご利用者、並びにご家族の皆様方の安全、安心を第一義として、サービス提供を心がけて行きたいと存じます。

にぎたつ苑 苑長・事務長から新年度のご挨拶

~Leader's objective~

いよいよ令和5年度がスタートしました。済生会においても「施薬救療の精神」を体現すべく中長期的な計画が見直され再スタートする年でもあります。

このことを踏まえ、にぎたつ苑では、「未来 SOZO 空間 x ~自由と時流~」をビジョンに苑一体で進めて参ります。

このビジョンは、これまでの「未来 SOZO 空間」に「x」を追加しました。「x」は“未知”を意味し、職員一人一人が、自由な発想で時流(時の流れ)を感じ取り、新しい価値観を SOZO(想像・創造)していこうとする意志を示しています。

将来のこと、来年のこと、来月のこと、明日のこと・・・、人それぞれ想像する未来は違うとは思いますが、すべてに共通する起点は今(現在)です。未来を創造できるのは今の自分自身の意志と認め合う心かもしれません。

コロナ禍の生活もまもなく変化しようとしています。雨が降った後、虹がかかるように、今年度は、虹を見られることを願います。虹は「幸せの前兆」。そう考えると、雨も悪いものではないのかもしれないですね。



事務長
後藤道洋

2022年度 アンケート(n=621)

実施 : 2022年11月

対象 : 入所、ショート、通所リハビリ、ごごしま、訪問介護、訪問看護、なでしこハウス、ハートフル、ワークステーションのご利用者又はご家族

回収率: 83%(n=621)

施設情報(案内)が通知できるシステム

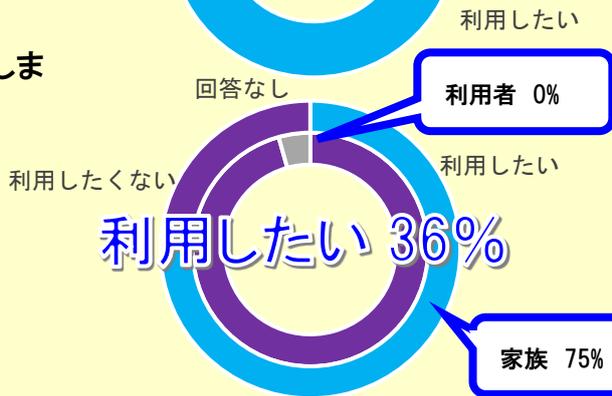
施設(家族のみ)



デイケア



ごごしま

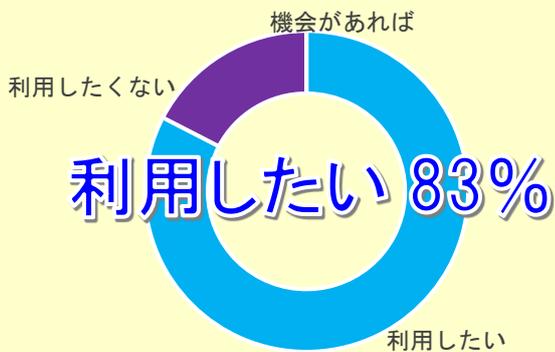


訪問介護



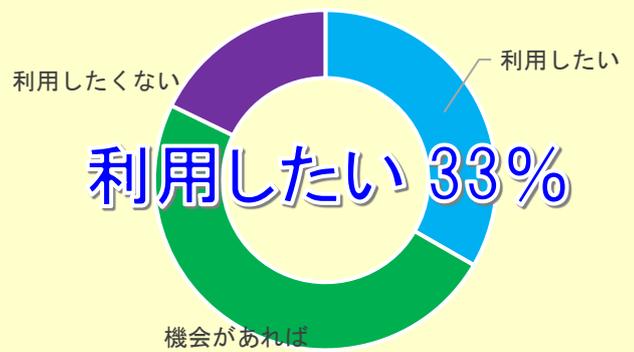
退所後を想定し、入所前から 専門職の提案や指導を受ける

施設(家族のみ)

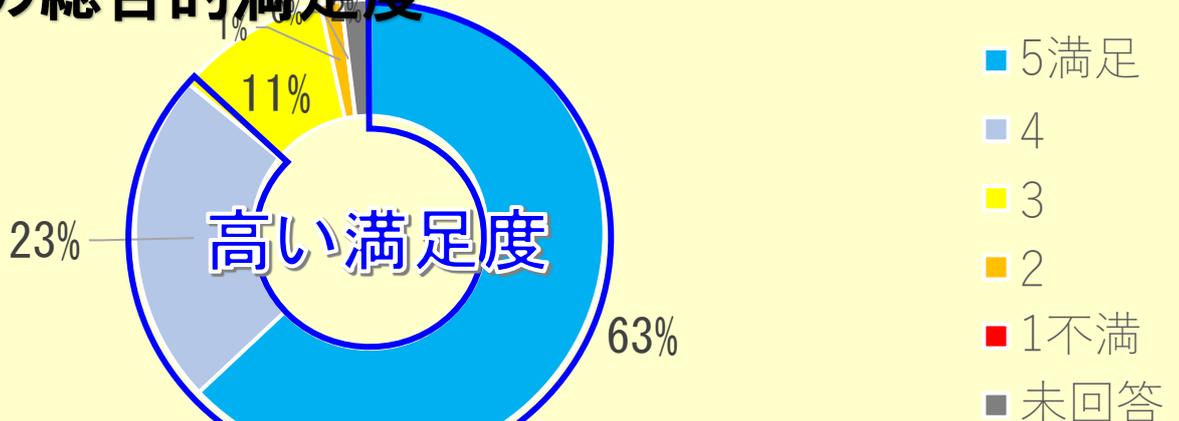


アフターコロナ後の オンライン面会

施設(家族のみ)



苑全体の総合的満足度



入所、ショート、通所リハビリ、ごごしま、訪問介護、訪問看護、なでしこハウス、ハートフル、ワークステーション

入所・短期入所療養介護

～入所の取り組み～

にぎたつ苑では様々な委員会活動を行っています。今回は排泄への取り組みについてご紹介します。これまで使用済紙おむつは、産業廃棄物として整理していましたが、令和3年4月1日からは事業系一般廃棄物(可燃物)として受け入れられるようになり、にぎたつ苑でも分別に取り組みました。

松山市より

令和3年4月1日～オムツの廃棄

「産業廃棄物」→「事業系一般廃棄物」として、松山市クリーンセンターにて受けると提示あり。

“にぎたつ苑でもできないかな??”と相談を受ける”

- ・委員会メンバーを中心に検討し各フロアへ、アンケート実施(対応の仕方など)
- ・ゴミ箱を購入する?排せつ物が見えない様にするには?
- ・医療廃棄物はどのようにしていくか。

どのように廃棄できるか、市のホームページで確認、連絡し、廃棄に必要な物資、廃棄業者の選定や実際実施している事業所への見学等を行いました。廃棄の仕方や運搬方法を検討、経験者からも意見を聞きました。



沢山のアイデアを思案しました

事業系一般廃棄物の廃棄の仕方や、医療廃棄物の注意書きなどを作成し、職員が分けやすいように工夫しています。

廃棄用のゴミ入れ

廃棄の仕方(注意点)

医療廃棄(注意点)



色々思案しオムツの空き箱で対応する事になりました。汚れ物は見えないように廃棄の依頼があり、新聞紙をゴミ箱に設置して、そのまま捨てられるようになりました。

にぎたつ苑では
令和4年4月1日よりスタート!!



上半期のみ報告であるが廃棄料金
約114万円→約48万円となり

上半期、約66万円の削減
となりました!!

取り組んだ結果、上半期の廃棄料金は産業廃棄物の廃棄料金が月平均約19万円で、事業系一般廃棄物に変更後は月平均8万円となり、約58%の削減となりました。

毎月、専門の業者の方にも話し合いに参加して頂き、オムツの商品改良点や漏れや拘縮でパットがうまく当てられない方の相談をしたり、アドバイスをいただいています。1人1人のオムツの使用量の把握をし、適正なオムツ、パット類の使用をすることで、夜間の交換回数を見直しを行い、夜はしっかり休んでいただくように取り組んでいます。

SDGs

松山市は、人口50万人以上の都市の中で、「市民一人一日あたりのごみ排出量」が全国トップレベルの少なさです。各事業所が少しずつ減量や再資源化を行っていくことにより、大きな成果に繋がりが、次世代に豊かな環境を残すためにも取り組みたいと思います。

委員会活動のご紹介

地域連携委員会

にぎたつ苑と地域社会との絆を強めるために、さまざまなボランティア活動を実施しています。委員が主体となり、他の職員の協力も得ながら、連携の輪をさらに広げるべく、ご利用者とご家族、地元コミュニティとの協力関係の構築に努めています。

<2022年度の主な活動内容>

- 清掃活動:毎週火曜・金曜の朝に、施設周辺の清掃活動を行う。
- 地域清掃活動:年2回、より広い範囲で清掃を実施。
- にぎたつ SDGsプロジェクト:小学校が行っているボトルキャップ、ベルマーク集めを支援。同じく、「衣類の NEXT LIFE」として着なくなった衣類を有効活用できる地元団体に譲渡。

<2023年度の新規プロジェクト>

- 「フードドライブ」を実施。家で余っている食物を寄付してもらい、有効活用できる地元団体に譲渡。



↑ 清掃活動の様子



↑ ボトルキャップの回収



↑ 集めた衣類を譲渡

介護ロボット福祉機器ケア向上委員会

福祉機器の導入でケアの充実を図り、サービスの質の向上に努めることを目標に、職員のスキルアップ、業務の効率化、資格取得や研修会参加のほか、各種啓発活動を進めています。

<2022年度の主な活動内容>

- 介護ロボット開発実証に参加し「移乗支援ロボット サスケ」の実証検証を実施。
- 同じく「コミュニケーション支援ロボット パルロ」の貸し出しを受けて試用。
- 入所施設とデイケア用に各種車椅子14台、歩行器5台、クッション等を購入。



↑ サスケを使った移乗



↑ パルロによる体操デモ



↑ リクライニング車椅子と歩行器





井戸端看護



～誤嚥性肺炎について～

日本人の死亡原因の第3位となっている肺炎。その死亡者のほとんどは「誤嚥性肺炎」によるものと言われています。飲食物や唾液が、食道ではなく気管に入ってしまった(誤嚥)際に、**口腔内の細菌が気管や肺へ流れ込んで起こる肺炎**のことをいいます。

原因

1. 食事以外の時(睡眠中など)に、本人や周囲が気付かないまま、口の中の細菌を唾液と一緒に誤嚥する(不顕性誤嚥)
2. 食後や睡眠中に胃や食道からの逆流物を誤嚥する(胃物逆流誤嚥)
3. 食事中に飲食物を誤嚥する(顕性誤嚥)

症状

37.5℃以上の発熱
息苦しさ 咳・痰

その他、元気がない・食欲低下・のどがゴロゴロ鳴る・食事時間が長い・ぼーっとする・失禁するようになった…などの症状が現れることがあります。

治療方法は、**抗菌薬を用いた薬物療法**が基本です。呼吸状態や全身状態が不良な場合は、入院して治療を行うことがあります。同時に**口腔ケア**の徹底や**嚥下指導**も行われます。

予防方法

1. **食事時の会話は控えめにして、しっかりと食べ物を噛み、飲み込む。**
※高齢者の食事中は、食べることに集中していただき、飲み込む瞬間に返事を要する問いかけをしないことが大事です。
2. **喉頭蓋を素早く動かして、舌を鍛えるトレーニング。(発声練習、早口言葉、歌)**
3. **口腔内を清潔に保つ。(食後の歯磨き、義歯清浄を必ず行う)**



誤嚥性肺炎は、治療しても、**予防を怠ると再発の可能性が高くなります。**再発の度に症状が重度化したり、耐性菌が発生して治りにくくなったりする厄介な病気なので、**予防がとても大切です。**

入所・短期入所療養介護

お問い合わせ先 TEL 089-951-6600

- ・ 日常生活の介護(食事、入浴、整容、更衣、排泄)・看護(健康状態の把握、口腔ケア、医療的処置など)
- ・ リハビリ(短期集中リハビリ、認知症短期集中リハビリ、個別リハビリ、集団リハビリ)
- ・ レクリエーション(集団レク、集団体操、教養娯楽活動など)
- ・ その他(入所や退所の相談、ケアプラン作成、家族の相談、退所指導、居宅との連携など)

訪問介護事業所

お問い合わせ先 TEL 089-951-1106

生活援助:掃除、調理、洗濯(洗濯物干し、取り入れ)、シーツ交換、買い物代行、衣類の整理など

身体介護:入浴介助、清拭、買い物同行、通院同行、食事介助、口腔ケア、排泄介助、更衣介助、移動や移乗介助、自立支援の見守りなど

・営業日(相談受付日)月～金(12/30～1/3を除く)・営業時間(相談受付時間)8:30～17:00

・サービス提供時間…ご利用者の希望するサービスに対応

・ご利用範囲…松山市(旧北条市、中島町を除く) *興居島地区にもサテライトがあり対応しています。

居宅介護支援事業所

お問い合わせ先 TEL 089-951-1514

ケアマネジャーはお決まりですか?介護のこと、お気軽にご相談ください

私たちケアマネジャーは介護保険制度において、要支援・要介護と認定された人が、住み慣れた我が家でその人らしい生活ができるように、適切なサービスの提供をご支援いたします。

在宅生活復帰支援センター ハートフル済生会

お問い合わせ先 TEL 089-946-8100

保健・医療・福祉サービスを統合的に提供・支援する**賃貸住宅**です。生活支援をさせていただき、自立と早期社会生活の復帰や生活機能の維持を目指します。安心した環境の中で、今までの生活ペースでご自分に必要な在宅サービスをご利用いただきながら、お過ごしいただけます。デイケアやデイサービスに通うことも出来ます。

済生会松山訪問看護ステーション

お問い合わせ先 TEL 089-951-1335

訪問看護・健康状態の観察・病状悪化の防止・回復・療養生活の相談とアドバイス・リハビリテーション

・点滴、注射などの医療処置・痛みの軽減や服薬管理・緊急時の対応・主治医、ケアマネジャー、薬剤師、歯科医師との連携など

訪問リハビリ・健康状態の観察(訪問看護師との連携)・身体機能訓練・基本動作の訓練・発声、発語、嚥下の訓練

・日常生活動作の訓練・住環境の整備・福祉用具の選定・自己訓練の指導・ご家族への介護支援、相談など

営業日【月曜日～金曜日】9:00～17:00【土曜日】9:00～12:00 24時間緊急時対応あり

済生会なでしこハウス

お問い合わせ先 TEL 089-992-9326

(療養通所介護&多機能型療養所)

サービス内容・個別送迎・健康状態の観察・食事介助・入浴介助・排泄介助・医療的ケア・レクリエーション

・医師、訪問看護師、ケアマネジャー、相談員との連携など

対象者 <児童発達支援、放課後等デイサービス>

18歳までの障害児で重症心身障害のお子様。医療処置が多く、常時看護師の目が必要な障害児の通所施設。

<生活介護>

18歳以上の障害者で医療処置が多く、常時看護師の目が必要な通所施設。

<日中一時支援>

日中において、一時的に見守り等の支援が必要と市町村が認めた障害者が対象。

営業日【月曜日～金曜日】9:00～17:00【土曜日】9:00～17:00

済生会ワークステーションなでしこ

お問い合わせ先 TEL 089-916-6959

(就労継続支援B型事業所)

就労継続支援B型とは障がいをお持ちの方を対象に、生産活動を通じて就労に必要な知識の獲得や能力の向上のための訓練を行なうサービスです。訓練を通して就労に対する知識や能力が向上した方は、**就労継続支援A型**や**一般就労へとステップアップ**することもできます。

開所日時【月曜日～金曜日】10:00～15:00【土・日・祝日】お休み

無料低額診療事業のご案内

当院は、社会福祉法第2条3項に基づいて、病気やけがにより生計困難をきたす恐れのある方や経済的理由により必要な医療を受けることが困難な方に対して、無料または低額な費用で医療を受けられるよう無料低額診療事業を行っています。

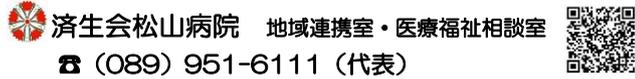
利用可能対象者

低所得者世帯等、経済的理由により診療費の支払いが困難と認められる方

申請方法 ※相談は無料。秘密は厳守いたします。

まずは1階「地域連携室」医療ソーシャルワーカーまでお尋ねください。

ご相談をお受けした後、院内規定により必要書類を作成し審査を行います。尚、必要に応じ



济生会松山病院 地域連携室・医療福祉相談室

☎ (089) 951-6111 (代表)
〒791-8026 松山市山西町 880 番地 2
E-mail: renkeishitsu@matsuyama.saisei

診療科/内科・循環器内科・脳神経内科・外科
整形外科・脳神経外科・婦人科・形成外科
泌尿器科・眼科・放射線科・皮膚科
麻酔科・リハビリテーション科

休診日/第2・4・5土曜、日曜・祝日

駐車場無料

にぎたつ苑の寄付金について



济生会は、明治44年に創立されてから皆様に支えられ現在に至ります。頂いた寄付金は、利用者様に還元し、この長い歴史の積み重ね(先人の想い)を、絶やすことなく未来へつなぎます。



利用者様にあった車椅子や歩行器など ノーリフト機器を導入し「怖い・痛い」の快適な苑内生活や歩行訓練に使用します。思いを軽減。安心・安全の介護実現

寄付金へのお問い合わせは、にぎたつ苑相談室まで
※ご寄付は税制上の優遇措置を受けることができます。

お問い合わせ先 089-951-6600



济生会 松山老人保健施設にぎたつ苑

理念

济生会理念のもと、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、在宅を含めた生活機能の維持・向上を目指し、総合的にサービスを提供する。

サービス目標

- 1、利用者の意思を尊重し、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要なサービスを提供する。
- 2、生活環境の整備や在宅生活に必要な体力・基本動作能力の獲得など、生活の質の向上を目的にサービスを提供する。
- 3、利用者の身体状況に応じて、適応なサービス提供の支援を行い、安全な在宅生活維持に努める。
- 4、自立した在宅生活が継続できるよう、在宅サービスを提供するとともに、他のサービス機関と連携して在宅生活を支援する。
- 5、市町村自治体や保健・医療・福祉機関などと連携し、地域一体となったケアを目指す。

- | | | | |
|------------------|------------------|---------------------------|------------------------------|
| ■介護老人保健施設 | ■訪問リハビリテーション | ■日常生活支援・指導事業 | ■通所介護(興居島) |
| ■短期入所療養介護 | ■介護予防訪問リハビリテーション | ■介護職員初任者養成講座 | ■介護予防型通所サービス(興居島) |
| ■介護予防短期入所療養介護 | ■居宅介護支援 | ■訪問看護ステーション | ■配食サービス(興居島) |
| ■通所リハビリテーション | ■訪問介護 | ■多機能型なでしこハウス | ■過疎地有償運送(興居島) |
| ■介護予防通所リハビリテーション | ■介護予防型訪問サービス | ■在宅生活復帰支援センター
ハートフル济生会 | ■就労継続支援 B 型
ワークステーションなでしこ |



発行元 社会福祉法人財団^{恩賜}济生会
松山老人保健施設にぎたつ苑
苑長：山本昌也

住所 松山市山西町 880 番地 2

電話 089-951-6600

ホームページ <http://nigitsatsu.saiseikai.or.jp/>

編集者 広報委員会

発刊日 令和 5 年 4 月 3 日

* 広報誌内におけるすべての画像は、本人様及びご家族様に了承を得て掲載しています。